

## 第2回高温超伝導バルク体の磁氣的挙動に関する応用調査研究会

研究会趣旨：高温超伝導バルク体とその磁氣的性質を対象に、磁気浮上や磁場捕捉に関する研究はすでに基礎段階を過ぎて応用段階にある。これらの現象は超伝導による永久電流でのみ具現化でき、他のいかなる方法をもってしても達成できないものであることからその応用は新たな産業上のメリットをもたらすものとして大きな期待がもてる。磁気浮上実験モデルなどすでに広く利用されているが、この原理的なモデルに留まらずさらに非接触軸受やポンプ、回転機に利用を拡大していくことで、エネルギー貯蔵などの大規模応用へも広く実用化が広がる可能性がある。本調査研究会では、新たな資金公募への提案応募を目指す。そのために現状での技術調査や応用調査などの調査研究を通じて、高温超伝導バルク体の磁気浮上や磁場相互作用などの磁氣的挙動全般にわたる調査研究を行って実用化への提案を目的とする。（低温工学 vol. 51, No. 2(6) 掲載）

〔調査研究会は規程で項目ごとの会員制になっています。研究会に参加をご希望の方は、当研究会主査に会員として申し込んでください。〕

日時 2016年10月24日（月）15：00～17：15

会場 芝浦工業大学 豊洲キャンパス交流棟 4F 401教室

主催 低温工学・超電導学会調査研究会

### 講演テーマ

講演1 「磁気浮上型免震装置の実用化に向けた取り組み」 津田理氏（東北大学）

講演2 「高温超電導体バルクマグネットを用いた磁気力制御技術

- MDDS, 構造異性体分離, プラスチックリサイクル -」 西嶋茂宏氏（大阪大学）

参加費 無料 （但し終了後に懇親会 4,000 円，場所：芝浦工業大学 豊洲キャンパス交流棟 2F ラウンジ）

参加申し込み〆切 10月17日（月）（ご芳名・ご所属とともに、講演会・懇親会への出・欠を下記連絡先へ）

研究会主査 新潟大 岡徹雄、幹事 芝浦工大 井上和朗

連絡先 新潟大学工学部附属工学力教育センター教授 岡徹雄

950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050 Tel.025-262-7668 Fax025-262-7010

e-mail; [okat@eng.niigata-u.ac.jp](mailto:okat@eng.niigata-u.ac.jp)